

新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目)に関する要望について

新型コロナウイルス感染症は、急拡大した第5波がやっと縮小したものの、いつ第6波が押し寄せるのか、予断を許さない状況であります。そのなかにあって政府は、令和3年12月からの3回目追加接種を実施予定と伝えており、その接種体制の準備を求めています。

本県では、知事のリーダーシップにより、県営ワクチン接種センターがいち早く設置され、ワクチン接種を県と市町村が連携し進めた結果、接種率が常に全国トップクラスを走ってきました。今後においても、コロナ対策のトップランナーとして、本県の対応に期待しているところであり、12市も県と一体となって、この難局を乗り切る所存ですので、追加接種においても下記のとおり対策をお願い申し上げます。

記

1 コロナウイルスワクチン追加接種について

・ 国において、12月から実施が検討されている3回目接種のいわゆる「ブースター接種」について、ワクチンの交差・混合接種等含めた新たな接種体制に関する正確な情報を求めるとともに、早期にワクチン供給・接種時期・接種対象年齢等を提示し、各市にとって負担が少ない接種の在り方を共に検討し、財政措置をお願いします。

・ 急遽な接種スケジュール変更は、現場が混乱をきたす為、当初より、中長期的な接種スケジュールを示すよう、国に申し入れをお願いします。

・ 1・2回目のワクチン接種と同様、県内市町村間で接種率を競うような風潮は避けていただくと同時に、未接種者が不当な差別を受けないような配慮をお願いします。

2 ワクチンの種類と対応について

・ ワクチンについては、これまでどおり、市町村はファイザー社製ワクチンを原則として、モデルナ社製ワクチンは追加接種においても、国・県・職域接種によってほしい。

特に、本県では、県営ワクチン接種センターのご尽力により、多くの市民がモデルナ社製ワクチンを接種できたことから、今後混乱無く追加接種を行うためには、現体制を維持することが必要であると考えますので、1・2回目接種時と同様に、県が主体となって大規模接種センターを設置するなどして、これまでと同様に効果的な接種体制の確保をお願いします。

3 ワクチン供給について

・ ワクチン供給にあたっては、市町村間の在庫偏在やワクチン不足の解消、さらには残余ワクチンの抑制に向けた広域的な需給調整を行うなど、柔軟な対応を行うこと。また、1・2回目と3回目を区別することなく在庫管理し、ロットも少量となることから小分けや廃棄についても柔軟な対応をお願いします。

4 県民への周知について

・ 追加接種が必要となるエビデンスや意義、追加接種の方法(2回目から8箇月後となっているが、いつまでに接種を受ければいいのか等)について、正しい情報収集を行うとともに、速やかに提供すること。また、県民に向けて周知啓発をお願いします。

5 今後のワクチン接種について

・ 令和4年度以降もワクチン接種が続くと思われます。今後も各市の負担が極力生じないよう対応をお願いします。

令和3年10月22日

群馬県知事 山本 一太 様

群馬県市長会長(太田市長) 清水 聖義

